Panasonic®

けむり当番 2種 (電池式・移報接点付)(警報音・音声警報機能付) (BL認定品) 品番 SH28453KBL

ねつ当番 定温式 (電池式・移報接点付)(警報音・音声警報機能付) (BL認定品) 品番 SH28153KBL

施工説明書

屋内専用

SH28453KBL・SH28153KBL

- ●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- ●取扱説明書の保証書欄に必ず必要事項を記入してください。
- ●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。
- ●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては、責任を負い兼ねることがあります。
- ●火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

付属品

- ●取扱説明書(保証書付き)…1枚
- ●施工説明書(本紙)……1枚
- ●取付用木ネジ(3.5×25mm)…2本
- ●専用リチウム電池 ……1コ

- ●優良住宅部品(BL認定品)は、住宅の一定部位に設置することを前提に認定基準などが定められています。本紙にしたがわず施工された場合、優良な部品としての性能などが発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品とはなりません。
- ●当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に不具合(瑕疵)が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマーク証紙の貼り付け(または刻印など)がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
- ●BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ(http://www.cbl.or.jp/)をご覧ください。

安全上のご注意 ■必ずお守りください

⚠警告

必ず守る

取り付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意する。
守らないと、転倒･落下してケガをするおそれがあります。

禁止

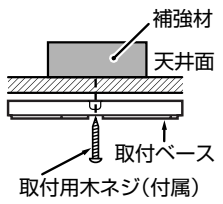
移報接点端子にAC100V用電源線を接続しない。
感電・故障の原因となります。

⚠注意

必ず守る

付属の取付用木ネジを使用して確実に取り付ける。
両面テープなどで取り付けると、商品が落下し、ケガや他の物品を破損するおそれがあります。

天井面または壁面の野縁※など補強材のある位置に取り付ける。ベニヤ板などの薄い天井材や柔らかい天井材は、あらかじめ補強を行う。
商品が落下し、ケガや他の物品を破損するおそれがあります。
※野縁：天井などを張るため下地の骨組みとなる細長い角材



石こうボードの天井に取り付ける場合は、引きひもをはずして使用する。
引きひもを引っ張ることで本体が落下し、商品が破損したり、ケガをするおそれがあります。

禁止

天井面に取り付ける場合は、取付ベースの真下で取付作業をしない。
ネジの締め付け時に天井材のくずが目に入るおそれがあります。
目に入った場合は、ただちに洗い流してください。

警報部に耳を近づけて警報音を聞かない。
聴力障害などの原因となるおそれがあります。

施工上のご注意

- ●絶対に分解･改造しないでください。また、落下させたり衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ●キズをつけたり、ペンキなどで塗装しないでください。

■取付場所について

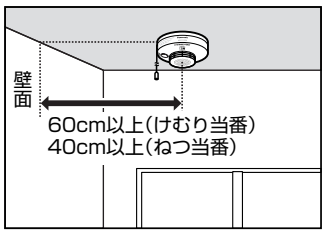
設置が必要な場所		火災警報器の種類
全地域で必ず取り付けが必要な場所	寝室：普段の就寝に使う部屋。子供部屋･高齢者の居室を含む。	けむり当番(煙式)
	階段：寝室がある階の階段最上部。	けむり当番(煙式)
市町村条例によっては取り付けが必要になる場所	居室：リビングなど寝室以外の部屋。	けむり当番(煙式)
	台所	けむり当番(煙式) または ねつ当番(熱式)
条件によっては必要になる場所	廊下：警報器を設置する必要がなかった階で、就寝に使用しない居室(床面積が7m²以上)が5以上ある階の廊下。	けむり当番(煙式)

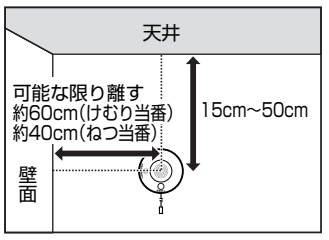
注 設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村条例で定められています。詳しい設置場所は、当社のホームページ上でも確認できます。

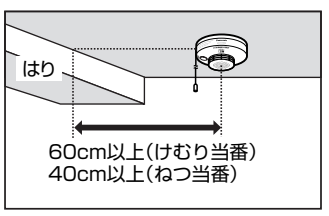
サポートページ(本URLは2012年1月現在のものです)
http://www2.panasonic.biz/es/densetsu/ha/jukeiki/

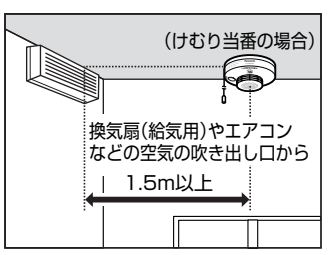
取付位置

本体の中心から以下の距離を確保してください。
誤動作や故障、または検知が遅れる原因となります。









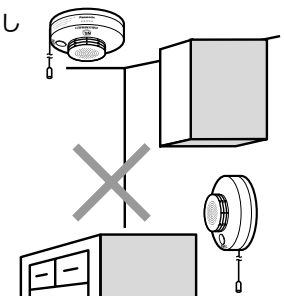
●階段や廊下などで上記の条件に則した設置が困難な場合は、所轄消防署にご相談ください。

■次のような場所には設置しないでください。(誤動作や故障、または検知が遅れる原因となります。)

けむり当番の場合

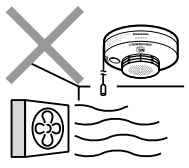
●天井のはりなどの近く
●タンスなどの真上および近く

●60cm以上離してください。



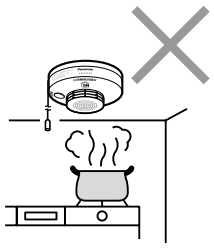
●換気扇(給気用)・エアコンの近く

●1.5m以上離してください。煙が流されてしまうため、検知しないおそれがあります。



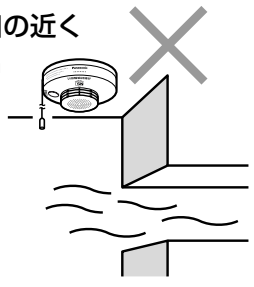
●火災ではない煙、蒸気などのかかる場所

●ダイニング・調理場・ガレージなどに設置するときは、調理の煙や蒸気、排気ガスなどがかからない場所に取り付けてください。



●空気の吹き出し口の近く

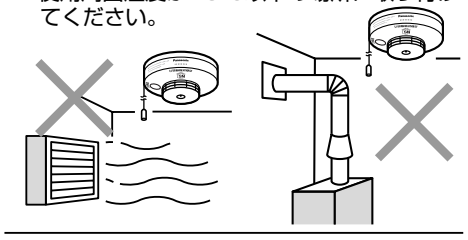
●吹き出し口から1.5m以上離してください。煙が流されてしまうため、検知しないおそれがあります。



ねつ当番の場合

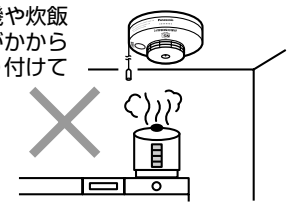
●暖房の吹き出し口や煙突の近く
●レンジ、ストーブなどの真上および近く

●使用周囲温度が40°C以下の場所に取り付けてください。

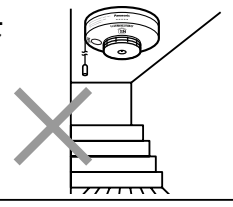


●蒸気などがかかる場所

●食器洗い乾燥機や炊飯器などの蒸気がかからない場所に取り付けてください。

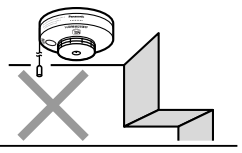


●階段・廊下



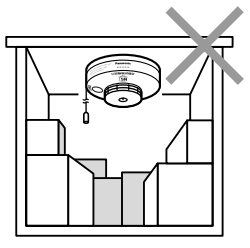
●天井のはりなどの近く

●40cm以上離してください。



●倉庫など直射日光により温度上昇のはげしい場所

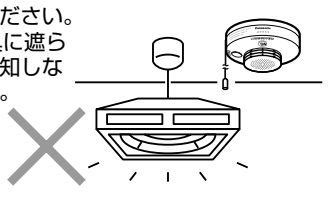
●使用周囲温度が40°C以下の場所に取り付けてください。



けむり当番・ねつ当番共通の項目

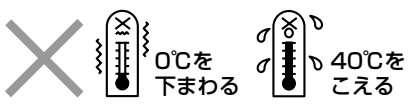
●照明器具の真上および近く

●可能な限り離してください。(約50cm)照明器具に遮られて煙または熱を検知しないおそれがあります。



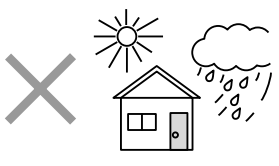
●取付場所の温度が0℃を下まわる、あるいは40℃をこえる場所

●気温が0℃を下まわると、電池電圧が低下して電池切れ警報動作をしたり、正常に動作しないおそれがあります。

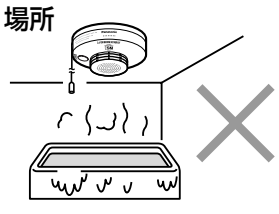


●屋外・屋側

●屋内専用です。



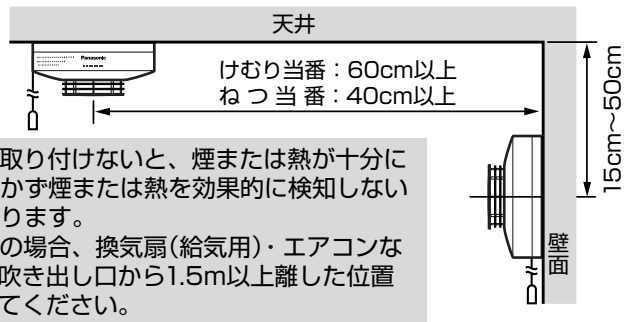
●浴室内・水がかかる場所・水滴のつく場所



取付方法

注 別売のけむり当番・ねつ当番壁掛用フック(10個入)(SH2891・SH2891K・SH2891Y・SH2891YK)を使用して、壁掛け取り付けすることはできません。

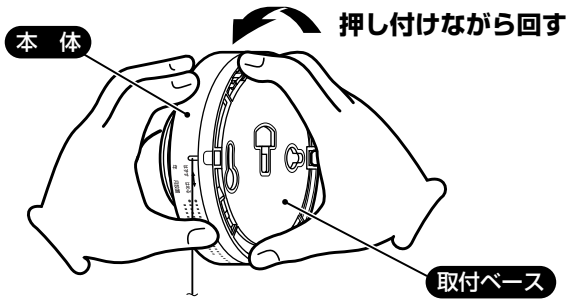
1 取付位置を決める。



注
- 上記寸法で取り付けないと、煙または熱が十分に検知部に届かず煙または熱を効果的に検知しないおそれがあります。
- けむり当番の場合、換気扇(給気用)・エアコンなどの空気の吹き出し口から1.5m以上離した位置に取り付けてください。

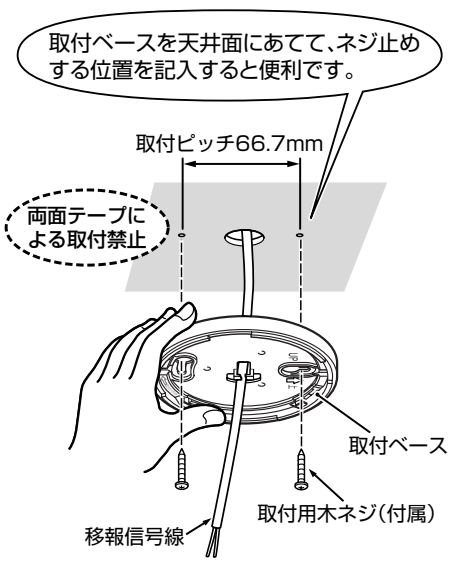
2 本体から取付ベースを取りはずす。

注 本体の外周を持ってください。外周以外を持つと、商品が破損するおそれがあります。



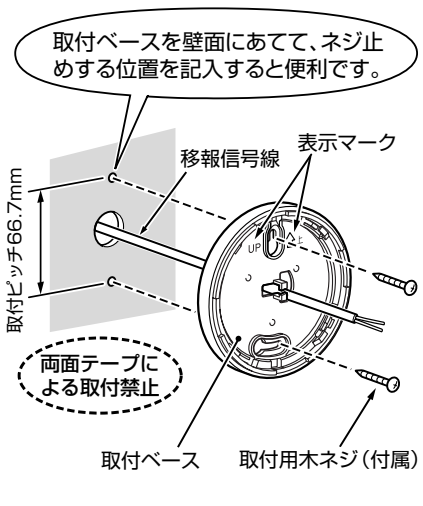
3 取付ベースを取り付ける。

天井面に取り付ける場合



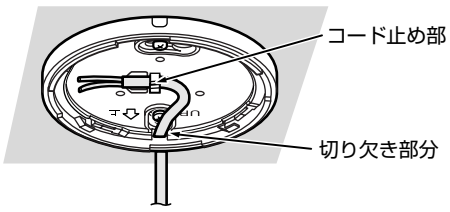
壁面に取り付ける場合

- 表示マーク(UP⬆上)が上にくるように取り付けてください。



露出配線する場合

- 切り欠き部分から配線してください。このとき、移報信号線は下図のようにコード止め部をとおしてください。

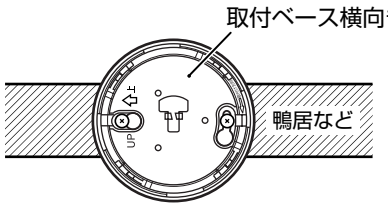


ボックスに取り付ける場合

適合ボックス
- JIS アウトレットボックス
- JIS コンクリートボックス

適合ボックスカバー
- JIS 丸孔カバー
  (丸孔カバーに取り付ける場合は、別途市販のM4ネジをご使用ください。)

- 幅のない鴨居などに取り付ける場合は取付ベースを横向きにして取り付けることができます。
  - 本体は警報停止ボタンが下にくるように取り付けてください。

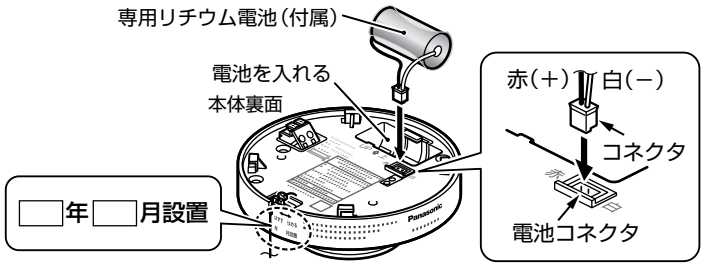


石こうボードに取り付ける場合

- **天井面に取り付ける場合は、引きひもを取りはずしてください。**
  引きひもを強く引っ張ると、石こうボード用取付プラグが抜け落ち、本体が落下するおそれがあります。
- 市販の石こうボード用取付プラグ(ネジ径：3.5mm対応)をお使いください。
- 石こうボードのくずが落下します。床面に敷物を敷くなどして取付作業を行ってください。

4 設置年月を記入し、専用リチウム電池を入れる。

1. 設置の年月を側面に油性マジックで記入する。
2. コネクタを差し込んでから、専用リチウム電池**(フィルムがついたまま)**を入れる。
3. 2秒以上経ってから警報停止ボタンを押す。
   電池の取り付けが正常な場合は「ピッ、正常です。」と鳴ります。



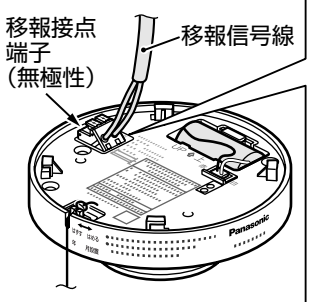
注 コネクタの接続には、工具を使用しないでください。また、**リード線の赤(+)と白(−)の向きを間違えないよう**注意して、確実に差し込んでください。正常に動作しなくなるおそれがあります。

5 移報信号線を移報接点端子に確実に接続する。

■接続方法

- 電線は必ず
  Ø0.65～Ø0.9の単線または
  0.3mm²～0.75mm²のより線
  を使用してください。

1. 電線被覆を10mmむく。
2. 1本ずつ奥までしっかり差し込む。



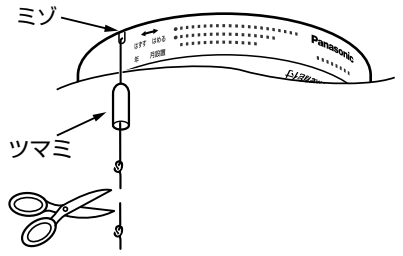
■はずし方

1. 指などで解除ボタンを押しながら
2. 電線を引き抜く。

注
- 細い単線(Ø0.65)やより線を使用する場合は、解除ボタンを押しながら差し込んでください。
- 移報接点端子への入線は、1端子あたり1本にしてください。
- 曲がった心線は使用しないでください。また、より線は整えた状態で差し込んでください。接触不良などをおこし、不動作の原因となります。
- 専用リチウム電池の取り替えやお手入れ時は、本体を取りはずす必要があります。取りはずしが容易に行えるように配線にゆとりをもたせてください。(約15cm程度)

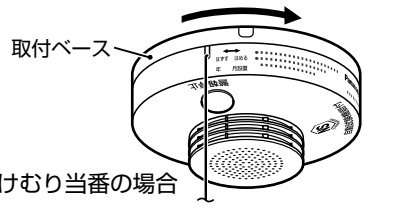
6 引きひもをミゾに収める。

- 引きひもがミゾに正しく収まっていないと、取り付け後、引きひもを正しく操作できなくなったり、本体を取りはずすことができません。
- 引きひもが長すぎる場合は、ツマミから結び目を引き出してカットし、新しく結び目を作って使用してください。
- 引きひもが不要な場合は、取りはずしても使用できます。



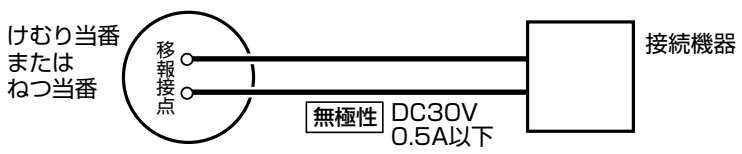
7 本体を取付ベースに取り付ける。

注 専用リチウム電池のリード線や移報信号線をはさみ込まないように注意してください。



※図はけむり当番の場合

配線方法



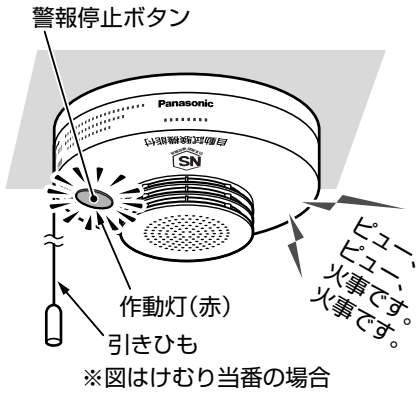
■接続可能な機器の商品例

- 光る警報ブザー(SH260)
- 住まいるサポシリーズ(WQH品番)
- 警報ランプ付ブザー(EA5501)
- セキュリティハンズフリーホンタッチ1型
  (WQN1124W・WQN1114W)
- アラームユニット
  (WQN5152W・WQN5153W・WQN51521W・WQN5114W)
- 小電力型ワイヤレス接点入力送信器(ECD2411)
- 乾電池式警報ブザー(SH611)

注 接続機器への配線方法や、電源など仕様の詳細および、配線長・接続可能台数については、接続する機器に付属の説明書を参照してください。

動作確認

1 警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。



※図はけむり当番の場合

テスト機能を使って確認する

2 警報停止ボタンを押す(約1秒間)、または引きひもを引く(約1秒間)。
- 作動灯(赤)が3回点滅すると共に「ピッ、正常です。」と1回鳴れば正常です。
- 移報接点は出力しません。

火災警報音を鳴らして確認する

2 警報停止ボタンを押し続ける(4秒以上)、または引きひもを引っ張り続ける(4秒以上)。
- 火災警報音「ピュー、ピュー、火事です。火事です。」が鳴り、作動灯(赤)が連続点滅すれば正常です。
- 移報接点が出力します。(付属の取扱説明書の「移報接点について」を参照)
- 警報停止ボタンまたは引きひもをはなすと、終了します。

下記の異常などがないか確認できます。
- 煙検知部または熱検知部の異常
- 電源異常
- 警報部(スピーカー)の異常

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地 電話 0120-283338 FAX 0120-551626

© Panasonic Corporation 2012

8A3 B14 00002　K0910-10112A